第1回 加賀市歴史的風致維持向上協議会 議事録

1. 日 時 令和2年3月12日（木）10:00～11:30

2. 場 所 加賀市役所別館2階302会議室

3. 出席者 委員8名

(会長) 馬場先 恵子

(副会長) 長谷川 孝徳

西出 正光

佐野 立子

山口 隆治

山野下 義紀

荒木 優子

米田 保宏

オブザーバー1名

金谷 進一

事務局 8名

加賀市建設部都市計画課、観光推進部文化振興課

4. 次 第

1) 開 会

2) 市長あいさつ

3) 会長及び副会長の選任

4) 議事

(1) 歴史的風致維持向上計画の概要

(2) 計画策定の背景と目的

(3) 加賀市の歴史的風致形成の背景

(4) 加賀市の維持向上すべき歴史的風致

5) その他

6) 閉 会

5. 傍聴者など 傍聴者 なし

報道関係 2名

6. 議事内容

◆事務局

只今より、第1回加賀市歴史的風致維持向上協議会を開会いたします。委員の総数、10名中、8名の方にご出席いただいております。加賀市歴史的風致維持向上協議会設置要綱第6条第2項の会議成立要件を満たしていることをご報告いたします。

開会にあたりまして、加賀市長宮元陸よりご挨拶申し上げます。

◆市長

おはようございます。馬場先委員、長谷川委員をはじめ各委員の方々につきましては、お忙しいところ、第1回加賀市歴史的風致維持向上協議会にご出席いただきありがとうございます。

大聖寺地区については過去に、街並み整備を推進するため「大聖寺十万石城下町史跡再生協議会」を立ち上げましたが、整備は進みませんでした。そこで、昨年より加賀市は、歴史的風致維持向上計画策定のため事前協議を文部科学省、農林水産省、国土交通省の3省と行ってきました。そして、本協議会を開催することができ、歴史的な街並みの保全及び整備に向けた第1歩を踏み出すことができたと考えています。

加賀市には大聖寺だけでなくたくさんの素晴らしい街並みを有しており、そのような素晴らしい街並みをどのように後世へ残していくか非常に大きな使命であり、地域を活性化しつつ観光地として成長していくための重要なポイントだと思います。

各委員の貴重なご意見をいただきながら、歴史的風致維持向上計画策定に全力を尽くしたいと思いますので、ご協力お願い申し上げます。

◆事務局

本日はお手元の次第に基づいて進行します。

ここで、資料の確認をいたします。まず、本日の「次第」、「協議会委員名簿」、「協議会設置要綱」。次に事前に郵送いたしました「第1章 加賀市の歴史的風致形成の背景」、「第2章 加賀市の維持向上すべき歴史的風致」です。また、協議会委員の委嘱状を皆様のお手元に配布させていただきます。

それでは、議事に入る前に、委員のご紹介をさせていただきます。金沢学院大学 教授 馬場先恵子様。次に、北陸大学 教授 長谷川孝徳様。次に、加賀商工会議所 専務理事 西出正光様。次に、加賀市観光情報センター 所長 佐野立子様。次に、加賀市文化財保護審議会 会長 山口隆治様。次に、加賀市まちづくり推進協議会連合会 会長 山野下義紀様。次に、加賀市女性協議会 会長 荒木優子様。次に、石川県南加賀農林総合事務所 所長 米田保宏様。

なお、石川県教育委員会文化財課 課長 田村彰英様、石川県土木部都市計画課 課長 中村博昭様は、本日欠席のご連絡をいただいております。

次に、オブザーバーをご紹介します。国土交通省 北陸地方整備局 建政部 計画・建設産業課 課長補佐 金谷進一様です。以上の方々です。

続きまして、本協議会の会長及び副会長を選任します。選任方法は協議会設置要綱第5条第1項の規定により、会長及び副会長を委員の互選により定めることとしておりますが、馬場先委員に会長を、長谷川委員に副会長を務めて頂くことを事務局より提案いたします。委員の皆様いかがでしょうか。

◆各委員

(異議なし)

◆事務局

馬場先委員、長谷川委員、よろしいでしょうか。それでは、馬場先委員に会長を、長谷川委員に副会長をお願いいたします。馬場先会長は、会長席へお移りください。それでは、ここからの議事進行を馬場先会長にお願いします。

◆馬場先会長

加賀市はもともと、加賀藩の支藩である大聖寺藩として、加賀地方十万石の地を治めており、金沢市に負けず劣らず古い歴史と文化がたくさんあると思います。それを新幹線開業までに、整理できるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

議事（１）歴史的風致維持向上計画の概要、（２）計画策定の背景と目的

◆馬場先会長

それでは議事（１）、（２）について事務局より内容の説明をお願いします。

◆事務局

(説明)

◆馬場先会長

議事（１）、（２）について何かご意見、ご質問があればお伺いします。

◆山口委員

平成 23 年に加賀市で、「加賀市歴史的文化的文化基本構想」を策定しているが、歴史的風致維持向上計画との関連性を教えていただきたい。

◆事務局

「加賀市歴史的文化的文化基本構想」を基に本計画の第 1、2 章をまとめました。また、今回の計画は文部科学省だけでなく、農林水産省、国土交通省の意見をいただきながらまとめるものとなります。

議事（３）加賀市の歴史的風致形成の背景

◆馬場先会長

それでは、議事の（３）について、事務局より説明してください。

◆事務局

(説明)

◆馬場先会長

議案（3）の内容について何かご意見、ご質問があればお伺いします。

◆荒木委員

本計画の作成過程を教えてください。

◆事務局

平成 23 年に作成した「加賀市歴史的文化的文化基本構想」を基に事務局で作成し、その間に文部科学省、農林水産省、国土交通省各省からご意見をいただき修正をかけ、本日の協議会に臨んでいます。

◆山口委員

「加賀市歴史的文化的文化基本構想」を各委員に配布してはどうか。

◆事務局

「加賀市歴史的文化的文化基本構想」は在庫がないためお配りすることはできませんが、「加賀市の文化財」については在庫があるので、準備出来次第配布させていただきます。

◆馬場先会長

P55 からの指定文化財一覧に地区名を記載しておいたほうが、わかりやすいと思います。また、一覧の並べ方はどのようなルールで行っていますか。

◆事務局

指定文化財一覧の修正については、ある程度書き方が決まっているので、3 省に確認しながら適時修正したいと思います。

◆長谷川副会長

指定文化財一覧については、第 4 章で重点区域の位置及び範囲を決めた後、再度見直しを行ったほうが良いと思います。

◆事務局

重点区域が決まった段階で指定文化財一覧を再協議させていただきたい。

◆馬場先会長

重点区域を定めるにあたって、どの地区に指定文化財があるのかは重要だと思うので、わかりやすくまとめていただきたい。

◆山口委員

高岡市や金沢市など、実際に計画を作った自治体では、整備がどのように変わったのか。

◆長谷川副会長

作成前と後では、町並み整備などが変わりました。高岡市では、旧街道を再整備したり、暗渠を開渠にして昔の用水路のようにしたり、舗装材を工夫して土っぽく見せたりしています。

令和2年度で1期分の整備が完了するので、2期目となる次の10年の計画を作成しており次ほどの地区にしようか検討しています。

◆山口委員

実性院や全昌寺には、過去に大学教授やその学生が研究に訪れていましたが、現在はあまり活用されていません。もっと活用されるように整備してほしい。

◆長谷川副会長

第5、6章に文化財の保全又は活用に関する事項、歴史的維持向上施設の整備・管理に関する事項文化財の活用について記載するところがあるので、そこに記載し寺院群周辺の整備を行っていただければ良いと思います。

◆事務局

認定をうけた後5～10年の期間で実施計画を策定することになります。内容については慎重に検討したいと思います。

◆馬場先会長

第1章については、今後の検討によって、更に追加や変更があるかもしれませんが加賀市の歴史を網羅していると思いますので、次に進んでよろしいでしょうか。

◆各委員
(異議なし)

議事(4) 加賀市の維持向上すべき歴史的風致

◆馬場先会長

それでは、議事の(4)について、事務局より説明してください。

◆事務局

(説明)

◆馬場先会長

議案(4)について何かご意見、ご質問があればお伺いします。

◆佐野委員

計画に関する活動を行っている団体との協議は、実施計画を定める段階でさらに重要になると思うが、どのように連携をとっていくのか教えてほしい。

◆事務局

重点地区に関する活動を行っている方の意見を反映した実施計画を作成したいと思います。

◆馬場先会長

「舞台となる建造物」の項目に鴨池などの自然環境に関することを記載しているが、建造物という書き方でよいのか。

◆事務局

鴨池については、そこに続く土木構造物である「掘り抜き水路」を建造物としています。建造物には、棚田にある石垣なども含まれます。

◆馬場先会長

維持向上すべき歴史的風致に近代のものがあまり含まれていないようですが、どのような整理をしているのでしょうか。

◆事務局

まず、本計画に記載することができる条件として、「建てられてから 50 年以上経過している建造物」、「建造物に関する活動が 50 年以上行われている」そして、「建造物とその活動が一体となって良好な市街地を形成している」これらすべてに合致しなければ記載することができません。

これらの条件に合致しないが重要だと判断されるものについては、コラムに記載しています。また、活動記録がないものについてもコラムに記載しています。

◆馬場先会長

「ぐち」なものづくりが工芸に偏っているように思います。大同工業などの工業についても 50 年以上続いている立派なものもあると思いますが、何故計画に記載しないのか。

◆事務局

計画に記載できる条件を満たしていないため、今回は記載しておりません。

◆荒木委員

大同工業について、大聖寺駅から見える昔ながらの、鋸屋根の工場が今では中々見ることでないので、歴史的な価値のあるものではないかと思います。

◆山口委員

大同工業の鋸屋根の工場は、歴史的に重要だということから大聖寺町史にも記載しています。また、大同工業の創業者「新家熊吉」は近代産業の創業者 10 傑に選ばれているので、計画に記載するべきだと思います。

◆事務局

大同工業について計画に記載するべきか検討しましたが、建造物に関連した活動や市街地形成がされていないことから、記載することが難しいと判断しました。

◆長谷川副会長

なぜ、大同工業のような特殊鋼を扱う企業が、大聖寺にできたのかを調べたほうが良いと思います。高岡市金屋町では、江戸時代からある鋳物の関連施設として昭和 30 年代の近代的な工場も関連施設として残しています。そのような事例もあるので、歴史的な背景や文化を踏まえた上で、ストーリーを作ることができれば、残す価値のあるものになると思います。また、建造物だけを残すのであれば、文化財として指定するなど、いくつか方法があると思います。

◆馬場先会長

文化的景観と歴史的風致は違います。文化的景観は時代的な変遷が積み重なり現在まで続いている景観のことで、歴史的風致は始まりとなる時代があり、現在まで残っているものだと思います。高岡市で、江戸時代から続いていた鋳物が今の金物づくりにつながり建造物に歴史的な価値が見いだせるように、大聖寺では近世から続いたものづくりが、大同工業につながるのであれば鋸屋根についても歴史的風致としてみなせると思います。

◆山口委員

大同工業は 7、80 年前から近代産業を支えてきた企業なので歴史的にも価値があると思います。

◆長谷川副会長

工場の地図記号にもあるような今では珍しい形の工場なので、価値のある建造物として保存することができると思います。今後の話になりますが、第 4 章の重点区域の設定で、重点区域から外すこととなった際に、文化財として保存するかどうか検討したほうが良い。

◆事務局

大同工業はもともと、轆轤の技術を応用し木製リムを作成したところから始まっています。そして、リムの金属化に併せて今の特種鋼を扱うことになったのではないかと推測されます。そのような流れを「ぐち」なものづくりのコラムに記載するかどうかは検討したいと思います。また、鋸屋根の工場については、本計画で記載できる範囲で記載し、重点区域から除かれる場合には登録文化財や産業遺産などに指定するなど検討したいと思います。

◆馬場先会長

第 1、2 章の中で、近代のものづくりを載せたほうが見る人に歴史的な流れがわかり、読みやすいと思います。掲載できる範囲で検討していただくということでもよろしいでしょうか。

◆各委員

(異議なし)

◆馬場先会長

本日予定していた議事はこれで終了しました。続きまして、次第の 5. その他ですが、全体を通してご質問やご意見ありますでしょうか。

◆米田委員

3回の協議会で本計画を策定する予定ですが、次回はどの範囲まで協議するのでしょうか。

◆事務局

次回は、第3章から第6章そして、今回協議いただきました第1、2章について、次回までに訂正等ありましたらその部分について説明させていただきます。

◆馬場先会長

議事はこれにて終了します。ご審議いただきありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

◆事務局

今回の議事録は、後日、皆様にご送付いたします。記録内容に、疑義がありましたらご連絡ください。また、議事のスケジュールでもご説明いたしましたが、次回は5月ごろを予定しておりますので、日程が決まり次第、改めてご案内させていただきます。

それでは、第1回加賀市歴史的風致維持向上協議会を閉会いたします。長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。